

仕事が楽しい人 F i l e . 5 2 : 遠藤圭三さん (困りごとお助け業)



◆お父さんの無茶振りがあったから今がある

今回ご紹介する仕事が楽しい人は、
川崎市で LP ガスの販売をする遠藤圭三さんです。

遠藤さんは、小さい頃から車が大好きだったので、卒業後の進路を自動車整備士に決めて
いました。

ところが、学校の先生や友人から、「自動車整備の業界は飽和状態なので、他の職業を選択
した方がいい」と反対され、遠藤さんはどうしたものか思い悩みました。

そして出した結論が、「親父の仕事を継ぐ」でした。

お父さんから、後を継ぐように言われたことはなかったのですが、
この意思を伝えるとお父さんは、「そうか」と笑顔で迎え入れてくれたそうです。

社会人生活の1年目、お父さんから、

「いきなり自分の会社に入るのも何だから、まずは、修行に出なさい」

と言われ、お父さんの知り合いの同業者から、2社の候補企業が提示されました。

それぞれの所在地は、静岡と鹿児島。

遠藤さんは、せつかくの機会だから遠い方がいいだろうと、

鹿児島の会社を選びました。

行ってみて困ったのは、言葉。

鹿児島弁は、外国語と思えるほど理解できなかったそうです。

例えば、

「こはやっせん。つくいなおしじゃ」（注1：末尾に意味を記載しています）

と言われても何のことやら、頭の中は、???

何回か聞き直してもわからないでいると、追い払うように、

「もう、よか」

と言われることが続きました。

遠藤さんは、このようなアウェー感満載の環境下で3年間修業。

この期間中に、LPガスの販売をする上で必要な資格、

液化石油ガス設備士（平成6年）

高圧ガス販売主任者（平成7年）

を取得しました。

川崎の遠藤商店に戻ってきてからも遠藤さんは資格を取得します。

簡易内管施工士（平成11年）

ガス機器の移設工事、ガス栓の増設工事に必要な知識技能を有していることを示す資格。

第二種電気工事士（平成14年）

一般用電気工作物の保安に関して必要な知識及び技能を有していることを示す資格。

給水装置工事主任技術者（平成16年）

給水装置工事事業者が水道事業者から指定を受けるための必須の資格。

なぜ、遠藤さんは次々に資格を取ったのでしょうか？

それは、お父さんの“せい”。

人のいいお父さんは、お客様に何か頼まれると、何でもかんでも、
「はい、わかりました」
と引き受けてきて、遠藤さんに
「圭三、よろしく！」
と、丸投げしてきました。

元々LPガスの販売店だったはずなのに、気がつくと、
電気の配線、ユニットバスや流し台、そして便器の設置などなど、
住宅設備に関連したあらゆる仕事を請け負うようになっていました。

「うちは何でもできますから」と、
あまりにも調子よく仕事を引き受けてくるお父さんに、遠藤さんは、
「こんな工事、やったこともないから無理だよ」
と、時には反抗したこともあったようですが、都市ガスが普及しLPガスの市場が減少する中、お父さんの無茶振りがあったから今があると、遠藤さんはお父さんに感謝しているそうです。

(注1) これでは駄目です。作り直しです。

◆遠藤さんが大切にしているキーワード

できるだけ断らない (お父さんからの言葉)

お客様からどんな依頼をいただいても、できる限りのことをしてお応えします。

◆遠藤さんのパワー○○

アメ車に乗る

休日には用事がなくても、愛車のダッチバンに乗り気分転換しています。

◆遠藤さんのコツコツ

工事車両の整理整頓

工事車に積んでいる工具の整理は、工事に関わる仕事人としての務め。

いい仕事を安全にするために、不可欠な習慣です。

◆困りごとお助け業という仕事とは

お父さんの無茶振りから、お客様のあらゆる要望に応えられるようになった遠藤さんの仕事の実際を紹介すると、

換気扇の調子が悪い、スイッチが壊れた、電気がつかない、鍵がおかしい、蛇口がしまらない、水漏れがする、ガスコンロの火が着かない、庭の木の伐採、などなど、住宅にまつわる困りごと全てに対応しています。

先日も、「トイレがつまってしまったので何とかして欲しい」との問い合わせがあり、現場に行くと大変な状態。

便器を外して下水管の中を確認するものの問題は簡単には解消できず、作業が完了した遠藤さんは汚物まみれになっていました。

このエピソードを遠藤さんは笑顔で話しながら、

「僕がやりたい仕事は、人様の困っていることにお応えすることなんですよね」

「ちょっとした困りごとがあっても、頼む先って意外にないんです」

「こんな時に、ご近所さん感覚で地域の人たちから気軽に頼まれる、気の利いたお兄さんみたいな感じで仕事をしていきたいんです」

と、遠藤さんが抱く仕事への思いを教えてくださいました。

「平堀さん、こんな事例もあるんですよ。ガスコンロの火が着かないからと連絡をいただいてご自宅に伺い現物を見ると、このコンロの汚れが原因で火花が散らなかっただけで、掃除したら直ってしまうとか、ウォシュレットがおかしいと言われたものの、ただ電池が切れていただけだったなんてことがたくさんあります」

「こういうケースの場合に僕は、『壊れていなくてよかったですね。また何かあったら連絡ください！』ってお客さんに言って帰ってくるんです」

「もちろん、料金はいただきません。なんかしたわけじゃないんだから当たり前ですよ」

この話をしている遠藤さんの表情は素晴らしく楽しそうです。

この雰囲気に乗って、困りごとへのお応えを仕事にしてきた遠藤さんに感動エピソードを尋ねました。

「そういえば、先日こんな出来事がありました。娘が所属するバスケット部にパパ飲みのあるんですけど、あるパパ仲間から、遠藤さんの仕事って丁寧だよねって言われたん

です。意味がわからなかったんですけど話を伺うと、この方のご自宅のお風呂の交換工事をさせていただいた時のことだったんです。知人は水道局に勤めていて、この局の寮に住んでいるんですけど、私の配管工事が丁寧だったので、同じ寮に住んでいる同僚に、私を紹介してくれていたんです。工事は10年以上も前なので、この期間何も言わずに、こんなにありがたいことをしていただいたことを知り、思わず涙ぐんじゃいました」

遠藤さんの仕事の丁寧さは、遠藤さんのスナップ写真に写る工事車両を見ればわかります。車内に積まれている工具がきちんと整理されていますから。

遠藤さんは、困っている人を助ける仕事を続けていきたいのだそうです。

自分で全ての困りごとに対応できないので、遠藤さんは地元の業者仲間のネットワークを大切にしています。

ペンキ屋、板金屋、クロス屋、水道屋、大工など、たくさんの業者が地元が存在します。この仲間たちと力を合わせれば、どんな困りごとにも対応できると、遠藤さんは胸を張って言い切りました。

◆遠藤さんのプロフィール

職業：困りごとのお助け屋

所属：有限会社遠藤商店

◆遠藤さんが取得している資格について（ウィキペディアより抜粋）

液化石油ガス設備士とは？

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（液石法）に基づき、都道府県知事から液化石油ガス設備士免状の交付を受けている者である。

免状の交付を受けるためには、液化石油ガス設備士試験に合格するか、液化石油ガス設備士講習の課程を修了しなければならない。

高圧ガス販売主任者とは？

高圧ガスの販売事業主より販売事業所ごとに選任を受けている者である。経済産業省令で指定する23品目いずれかの高圧ガスを販売する場合、高圧ガス保安法に基づく高圧ガス製造保安責任者免状（一部の区分に限る）または高圧ガス販売主任者免状を受け、かつ6か月以上の製造保安または販売の実務に従事した者の中から選ばなければならないとされている。

◆困りごとお助け業に求められる能力

資格：各種の工事施工をする上で必要な資格の取得

技術：安全できれいな仕事をする技術力

思いやり：困っている人のためならなんでもするという心

人脈：自分の力の限界を知り、協力者に力を借りられる人柄

不言実行：言葉ではなく、仕事の出来栄で思いを伝える姿勢